時事新報定價
時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價郵送料廣告料は左の如し
一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓〇月曜日休刊
〇時事新報社より直接に郵送スルモノハ右定價ノ外に一箇月十三錢ノ郵税を申受ク
時事新報廣告料（前金）

一行五號活字仕四字詰	一日限	一日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十三錢	十一錢	十錢五厘

本社（寄稿に付
東京府下を始め各府縣に通信社あるものあり甚より各新聞社に報道を養送し各新聞社は之を受けて紙面を飾るより各社同一の記事を掲ぐるみと寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にはへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に向け郵送あらんことを請ふ

時事新報

國防は國民と共に研究す可し

軍國々防の事は政治上一般の施設と其趣を異にし秘密を要するの事項少なからずして容易に論議す可きに非ずと雖も其所謂秘密とは軍略上技術上に關するみとのみにして一般の軍務は必ずしも秘密に附す可らざるのみならず却て之を公にして國民と共に研究するの必要を見るものあり蓋し立國の事業多しと雖も最も國費を要するの多きものは國防の事にして兵員の養成を始めとし軍艦なり砲臺なり兵器なり鐵道あり何れも非常の費額を要せざるはなし國の獨立保護の爲めとあれば其費額も敢て惜む可きに非ずと雖も一國の防禦は自から其國の形勢如何と其國力の程度如何とを酌量して茲に其方針を定む可きものあり單に其形勢のみに着目して國力の如何を問はざるが如きは之を目して無謀の處置と云はざるを得ず左ばれ國防の事業は目下の急務なりと雖も一方に於ては之を國力の程度如何に徴して其事を處理するの更に急務あるを思はざる可らず今日は既に國會も開て軍國の費用も其同意を得ずに非ざれば之を實にするみと能はざるが故に國力の如何を顧みずして漫に着手するが如き患は萬々なれある可らずと雖も抑も國防上の事は單に費用の莫大なるのみならず其計畫一たび定まるときは容易に動す可らざるして後本の關係少なからざるものなれば事急ならずして又秘密に屬せざるものは廣く之を世間に公にして國民と共に其利害得失を研究し愈よ之を明にしたる上にて事に着手するも決して遅しと云ふ可らず例へば軍艦の製造の如き又軍事鐵道の敷設の如きは目下當局者に於て夫れ〳〵の計畫あるよしなれども其事たるや敢て一日二日の急を要す可きものにも非ず又みれを極秘に附す可きものにも非ずして尚も一方に於ては非常の費用を要し秘密の關係も少なからざるものなれば當局者は其計畫を怎ひるに當りて國民と共に之を研究するみと肝要なる所なり或は國會は國民代表の府なれば其議決さへ經たる上は一般の國民に謀りたると同様なる可しとの說もあれども凡そ國會の議員が議場に於て劇議す可き事は兼てより世間の問題と爲りて自身にも之を研究し又一般の輿論も之を可否して其利害も略ぼ決したるものにして始めて其議決に興論を代表するみとを得べきなれ若しも當局者が突然重要の議案を提出して會期の間に之を議せよとあるときは議員たるものは殆んど當惑せざるを得ず夫れも何か緊急を要する事件にてもあらば一場に討論を以て之を可否するみともあるべし雖も前條の如き軍艦鐵道などの場合に於ては其關係する所少小あらず隨て容易に議決す可き性質のものにあらざれば斯る重要の計畫を獨り當局者の胸中に存し置き突然みれを議場に提出するが如きは啻に議員の迷惑のみあらず當局者に於ても不利を免れざる可し如何とあれば折角苦心したる計畫も其利害の一般に明ならざるが爲めに却て否決さるゝの恐なきに非ざれば左れば右等の問題にして關係の大なるものは尚も秘密に屬せざる限りは豫め之を公にして輿論の向背を卜し且つ一般の國民と共に之を研究するの必要あるを見る可し西洋諸國の例を見るに新聞紙もしくは雜誌の類にて軍事を論ずるもの甚だ少なかあらず而して當局者の如きも時には署名又は匿名を以て其論を贊駁するみとあり之云ふ蓋し軍事上の事は獨り軍略技術等に止まらずして其利害は國民一般の感ずる所なるが故に輿論も常に注意を惹ちず又當局者も常に輿論の赴く所を察し或は互に論駁して以て益々その論を練り其斷く熟するに及んで國會議場の問題ともなり隨て又實際上の着手ともなるものあり今や我國に於ても國防上の議論斷く流行して政府にても次期の國會には軍艦製造又は軍事鐵道敷設等の議案を提出す可しと云ふ何れも重大の問題なれども今日の如く其案の趣旨世上に明かならずして兎角秘密にするの風あるに於ては事の計畫は單に當局者の胸中に存するのみにして一般の國民は此等の問題を研究するの機會なく又隨て其利害得失を詳にせざるの憾あるに非ず昨年の議會などにても軍事に關する議案中には國防上の秘密ありとて兎角に說明を厭ひたる事項も多きが如く今の軍事上には兎角秘密に談あるやうなれども元來秘密には自から限界あるものにして國會議場の議案と爲すものゝ如きは固より秘密の部に屬す可きものに非ず既に秘密に非ずとせば成る可き丈早く之を公にして一般の輿論に質問すること肝要なる可し我輩は國防に關する重要問題は國民と共に研究するを以て上下一般の利益たる可きを信ずるものなり

雜報

○機業者の繁忙、織物の溢造　外國の製作品には先づ十中の八九は見本通りの注文に相違せざる例しなれば見本を一見して跡荷を注文するの信用を措くに足るものあるは器械の完備し居るが爲めなるべけれども左りとて織物の如きは時として見本に相違するみとおしとせず然るを況んや日本流個人的の織立に係る織物に於ては素より數萬反同一の品を需るの難き勿論のみとあれども目下織場の如何にも繁忙にして市日の人出も容易ならず兎角望み品の手に入る模樣もあらざるより織場に向て前金を拂ひ込先物賣買を始め出せしは其機況を思ひ遣るに猶餘りある一證にして至極賀すべき現象なれども中には注文の織れ上りてゝず受渡しとあり之たる場合に見本とは甚だしき相違にして織質と云ひ尺丈と云ひ染と云ひ織反區々なる織上げなりしかと驚より買入に間違はるれば不本意ながら押問答の時間もあく不服あがらも斯る濫造の品を受取りしはッ此程の事ありと足利地方より上京したる同業者の物語りあるが右は何れの機業家にて何人との先約定に係りし品なるやは聞得ざりしが昨今は多忙の餘り前金を見ざれば織立を引受けざる向も續々現はるゝよしなれども之れには餘程注意を要すべきみとありと或る呉服通は語れり

○織場の盛況、織工の遊惰　兩三年以來打續きたる不景氣にて府下近縣の各織場も失敗に失敗を重ねたれば常に仕入の手控にて綿、絹布に拘らず年々織出を減少し隨て問屋も兎角持越荷の去らざるに苦其金利にさへ困じたるが春來多少の好氣を迎へ今や大概問屋の號も遂き渡りと之れと同時に各地の仕入客も日々賈遇みの姿となり織場に向ふ注文も次第〳〵に押嵩み桐生足利八王子の各織場は職工に不足を感ずる模樣にて其賃銀も昨年三十五六錢のものは七八十錢に迄引絞り又織屋は元絲の格安に割合ては反物相場の上足取りに氣勢よく織れば傍らより賣立ち仕込めば上るトン〳〵拍子の商狀にて別項にも記する如く反物の先物約定を見るが如き近來稀れある新奇想を織場に持込たるが目先き織出の上に不足を感ずる原因の一なるものは昨年一昨年中にありては織元即ち機業家中にも休業同樣のものあり て織工に渡すべき仕事とても極めて尠なし然るに米價は非常の高直なれば織工の賃銀も安直に走り織物は益々下落し獨々仕事は閑散ありしかと本年は夏季織物以來徐々景氣を賈ひ始め目下甚しく織工に不足を感ずる程の盛況にて其賃立も市日毎に立嵩み全く一兩年前の景氣とは正反對の隆盛を現したれば賃銀の如きも以前に加倍し又一方の米價、諸色も至極の直比に持合ひたれば暮し向きの容易あるより忽ち織工に怠惰の念を起さしめ益に織出しの不足を感じ又同時に織工の不足を訴ふる有樣ありといへり

○金融の緩慢、手形の流行　昨今の景氣は餘程回復したるものゝ如くあれども何れも過年の失敗に懲り果てたるものと見え深く手を收めて誰れ一人として資本を飼し彼れ是れせんと云ふものあらざる樣子あれば通貨の貸は利子を引下げざる可らざるに至りたるものあり それに引き替へ民間に於ては通貨至つて不充分あれば融通頗る不活潑にして既に今日に於て紡績絲問屋、織物問屋の如き何れも非常の品動きあるよしあれども融通の不活潑なるより織物問屋は製造元に仕拂手形を渡し製造元は又絲の仕入れを爲してその仕拂手形の權利を絲問屋に讓ると云ふ有樣にて或る二三の商店の如きは一日五千圓の取引ありとすればその内四千圓迄は手形取引ありと云ふ兎に角昨今は通貨より手形の方餘程盛んに流用し居るとあり

○米國シカゴ府世界大博覽會出品組合　外國貿易に從事する東京の商工業家五十餘名は明治二十六年米國シカゴ府に於て開設する世界大博覽會出品上の事に就き今回米國シカゴ府世界大博覽會出品東京組合あるものを設け廣く有志の賛成を得て出品の適否及び出品に關する便否得失を攻究するよしあり

○本間精一郎氏の三十年祭　維新前王事に奔走して非命の死を遂げたる本間精一郎氏の三十年祭を來る十月四日谷中天王寺境内にて執行する由あり

○新潟縣知事に係る行政裁判　大字中川新泉善七外百十三名は防條費賦課處分を不法ありと願せし處知事は其訴旨相立ざるを以て今度右村民は代言人白石則一郎を取り行政裁判所へ其訴を提起せんと開くと云ふ

外國笑話

泡雪奈四郎が夫婦慕の實論

婚禮の後、六箇月

お蔭やお前は私の爲めに天にも地にもなりたるなれば苦しくば作らん比翼の鳥、地に在ては連き渡りの枝と云ふみとがあるかお前の間柄だ私に構ふの標致はないよ麗しいよ所で今日は彌生の春樣だが如何だすみれから一人へ花見に行て往來の人を誤まらいか

オヤマアいやですよ私を小紫氏の光氏樣わたしは御覽の通り醜い顔、是程に綺、さぞマアおいやは御上處に出掛けせうかたのよいと思召すみとおら私お露や夫れじゃ行くみとに次第いやおら遠慮おしにいや前が側に居ないと何を觀ても面白ら

夫りや私だって其通りで御在せうか夫れとも柳の葉裏にしたは誰よりも一番よく御存お露や能書は筆を嬲ばず美人の着物を着ても麗しいよダガ實によく似合ふやうだ

夫れみを私が着やうと思て居一處にお花見に行たら嘲ふお花見へ行ても私の側を離れすよ、よう御在ますか指切りに居ないと悲しくって心細くすからッ

お前のいやと云ふみとならお前のかッー併しだって出來るものかッー併し

お前と如斯暮して居るとあり長續きがしないだろうと私や如其みとは盛言にも云ふもんもない、さう云ふみとを聞くすとドラ着物を着替へて參りと お露は納戸の方へ行く

已惚じやないがお露は實に麗姫が醜立ちしたッても及ぶだへ時事新報社に居て口の悪い見せて目の保養がさせてやりたッ

俗の今の姿を見たら天も驚て伸びるだろう死に樣るだろう凡そ天下に此身ほど